

資料群名	資料名	年	月日	事項	備考2 (分隊名)
韓国・ソウル大	新聞切抜	1935		「政治・行政」 2 61.3/19 (済)	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1935		「司法・警察」 4	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1936		「司法・警察」 1 3	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1937		「司法・警察」 9	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1938		「司法・警察」 8	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1939		「行政／司法・警察」 7	ファイル10
韓国・ソウル大	新聞切抜	1940		「行政／司法・警察」 1 2	ファイル10

書庫で確認 (1923)
昭和15年以降

Y113 (1) 1928-1990

新聞切抜：朝鮮国史 (京城平国 [平文] 活字印刷局整理記録)

60.9.19 労働問題 労働手帳 S3.9 (L)
小作問題 小作手帳 S3.9.5 (LL) } (済)
人口・移民問題 S3.9.5 (N)
政治 S3.9 (P)
社会政策、社会制度 S3.9 (S)

9.19 政治 S5 } (済)
S6 (1) } (済)
(2) ← →
(3) (済)

9.21 政治 都市問題 S6-1 (済)
政治 行政 S7-2 (済)

10.5 朝鮮人の国府行政協力 S7-2 (済)
司法 警察 S7.3 (済)

10.10 P政治 S7-1 (済)
P政治 S7-2 (済)

10.13 S8 政治行政 (一) (済)
S8 (二) (済)
S8 (三) (済)
S8 司法警察 (一) (済)

61.3.2 昭統8年 朝鮮国史 司法警察 (二) (済)
" " 政治・行政、司法・教育 (済) (政治・行政の時)
昭統9年 " 政治・行政 (2) (済)
" 司法警察、朝鮮行政機関 (済) (司法警察の時)
61.3.5 " P政治20 (済)
昭統10年 " P政治14 (済)
" 11年 " P政治・行政11 (上) (済)
3.19 10年 " 政治・行政2
" 11年 " P政治・行政12 (F) } (済)
" 12年 " P政治 (英・) }
" 12年 " P政治 (英・). PP行政
3.23 " 13年 " P政治7
" PP行政etc.8 } (済)
14年 " P政治6
15年 " 政治・行政etc.2

新聞切拔

朝鮮關係

L

問題
勞働
勞働
爭議

三年
昭和
四年
昭和

Y Y

13 (1)

メーデーの

示威は禁止

◇ 4. 28

鍾路署で禁止した

青年會のビラ撒布

京城青年會では二十六日夜緊急會を開き、來たる五月一日のメーデーに際してビラを撒布すべく決議したが、京城では例年の通りメーデーに關する一切の行爲行動を禁止する方針なので、鍾路署では直

に同會に對し右行爲の禁止を命じた、なほ當日までには多少この種の波瀾を豫想されるが、當日となつては名目をかへた屋内集會ぐらゐで、何等の催し事なく平穩無事に經過するものと見られてゐる

總立どころか

春光和やか

京城のメーデー

雨を予想された五月は長閑な
春日和に恢復した萬國労働者總立
のメーデーであるに係らず鮮内は
當局彈壓の爲め一切の屋外集會等
はなかつたのみならず内地朝鮮間
島に亘つて數次共產黨陰謀檢舉の
ため左傾分子も全く鳴りを靜めて
ゐた京城では夜僅に朝鮮労働總同
盟が内輪だけの記念會話を催す

御進物用の
お菓子は大和軒へ

のみ全く一切の記念集會はない驚
務局でも各地から靜穩異常なしの
報告をよう氣に接受してゐたが朝
鮮では全くメーデーと無關係らし
くさへ思はれもした

總督政治と

食の群れ

仁堂 國策八

人口の増加は生存競争を激化
の進展と共に進歩する科の恵
澤とは反つて一面人非關係を複雑
ならしめ攻め奪ひ人種成作の文明
が逆に人類を虐げ始めて来た、今
や多くの文明人と稱せらるゝ人々
は其過酷から脱却して母なる自然
懷に歸らうとして居る

現今私有財産制度の認められて
居る國家組織、社會組織の下には
種々益々貧富の差隔を馴致し富の
分配の不均ならす遂に饑に饑に
なく、食ふに粟を購ふ者さえ見
なくに至る、故に此の饑饉を補ふべ
く理想的國家並に社會組織を實現
せしむる爲地球の一角に新に建設
されたのが彼の新興勞農ロシアで
あつた「働かざるものは食ふべ
からず」とは彼等の内に燃ゆる建國
の目標であつて饑饉を配する國
旗も畢竟彼等の理想を表徴せられ
たものに外ならない

然るに總理と事實との斯ふまで
も相違するものかと彼等をして失
望せしめた事柄の中で皮肉にも近
時特に目立つ一つの例は其社會現
象として食のトラストである、而
して這は全く彼れの國情と相容れ
ない國家的、社會的寄生虫に屬す
る食の群れの如何にも然るたる組
織である、然も食の業に従事する
同志は正々堂々たる組合を組織し
立派に職業的權威と色彩とを飾り
成し又は成さんとして居る、勿論
是等組合には組織あり、理事あり

して業務を執行せしめつゝある、
隨つて加入條件の厳格も食の群
隊ある者、入會後は宗族に絶對盲
從、此の外總てが軍閥式規律に縛
せられて居る、更に進歩せるトラ
ストに於ては食の養成學校まで設
立せられ、基礎學として不具を裝
ふ技術、歩行方法等であつて蕭々
好成績を挙げつゝありと云ふに至
つては一應を喫する外はない

總て總督政治天下にある我
朝野を翻るに土地の饑饉に依る所
謂大地主と小作人並に過去の政治
的苛酷に依る種々なる疲弊は流れ
くつて其處に貧富の懸隔を深刻な
らしめ遂に多くの食を産むに至
つた（無論他に幾多の理由はある
が）而して此產物は昨今の問題で
なく遠く原因の胚胎を知り、さ
りながち近時著しき現象の一と
して見通し難いのは食の三々五
々に群を爲して市中を徘徊し、し
かも其の多くが、否殆どが饑患者
なるに於ては眉をひそめんとする
も能はざるところにして彼等一群
の邊境に作むや、其の執拗にして
要求の切なる、權柄なる、恰も吾
人の身代りに饑餓者たるが如き感
を示し人々を憐れと觀るや、あら

ゆる恐喝文句を羅列して幾何かの
代物を奪て去る、而して一度饑へ
たりとせんか、習慣づけられ爾後
拂へても去り難く其不快、緊迫、
窮乏を比擬するべくもあらず、
如何に禪榻を誂ぬるも濃風に臥す
る由なき現狀と云はねばならぬ
吾人は限に此の實際を見せつ
けられて種々なことが想像せらる
る、其中でも一番恐ろしいのは病
の感染と、食の蔓延とであ
る、第一は曾て彼等の一團が野菜

腹見し大騒ぎをしたことも最近の
實例、それよりもつと嚴いにな
ると自己の腹を取つて他人に傳
せんと企てる徒輩さえ見受くる、

第二は彼等の仲間同志に於ける不
文法であるが相當の秩序を以て組
み立てられ其方法略勞農ロシアの
食のトラストに髣髴たるところが
ある、彼等の觀念は決して自己を
卑下するのではなく其生存上勞せず
して如何に巧めに要求を充たすべ
きかの一點にある、之れを今日の
場合徒らに推移に委ねるに於て饑
て良民生活は他日思ふべき社會的
奇現象を顯現するの目あるなきか
を悲しむものである

四

山梨總督は初等教育の普及と擴
張とを計るが爲向ふ六ヶ年を期し
金銭一面一校主義を基調として教
育方針を樹立した、而して從來の

如き形式本位でなく生活問題の實
際に即して立案せるものにして吾
人敢て異議あるにあらざるも、そ
れよりもつと急務な當面の問題は
良民の生活に恐慌を興へ病瘵を傳
播しつゝある彼の食の群れ患者の
一團を如何に救済し、處置し、絶滅
せんかの一事ではあるまいか、吾
人固より國費に限りあるを知る、
豫算緊縮の今日其捻出に層層の困
難なるを想ふ、去りながら吾人の
主張し警告する此の問題は初等教
育の普通六ヶ年計畫を十ヶ年に延
長するも應急の方法として彼等社
會的敗殘の群に對し更に何等かの
形式に於て擴張的施設の樹立を冀
望して止まない次第である

社説

國家社會政策

朝鮮が内地よ

りも急務

民12

可及的平等、可及的分配の公平を、均等主義は現代人の主張する所であつて、大衆が目覚めて来た今日では國家社會主義は正しい理論として受け入れられ、際になつた、即ち現在の資本主義の上に立脚した社會においては、經濟を放れて人生はないので、食ふために生き、ために現代人は

凡ゆる問題と戦つて行かねばならぬ。最近政府でもかうした社會政策的施設に重きを置き、朝鮮でも新總督を迎へてこの方面の政策が頗る重要視される様になつたことは、最も喜べき現象である。云ふに躊躇しない、富の程度の低い朝鮮人が、前において一層切實にこの感を深くする。

池上政務監督が歸城の途次、親しく釜山刑務所を視察し、囚人の朝食を試食し、二三囚人に懇々と訓戒を與へたことは、新總督が如何に社會問題について心を勞してゐるかを雄辯に物語するもので、

視の際に常に下級官吏の生活状態を詳細に聴取する心遣ひもここにあると鑑定して憚らない、また豫算面に現はれた公設質屋、住宅難の緩和、小額資本の貸付、業の社會政策は朝鮮として最も必要な施設であつて、朝鮮統治の完璧は大衆の貧乏階級として昇化に潤はしむる外に方法はないと極論しても間違ひない。

三 朝鮮社會主義者永貞氏は自己の怠惰過失から失業する者は別として、活能力があり就職の意志があつても仕事がなく人を怨み世を呪ふ者、少く

ない、かう云ふ不満が積り積つて思想の悪化となり、遂には流血革命等の慘劇を見るに至ると云つてゐるが、誠に同感で、人下女を養成して内地人家庭に附随し、普通學校の卒業生を丁稚小僧に仕立てる案などは最も機宜の處置で、職業紹介所の機能を發揮する方法として勞働市場の開闢も養成である。

四 要は社會、國家、または公共團體が可及的平等と可及的分配の公平と機会の均等に向つて、社會の改善を歩み、遂行し健全な社會制度を建設したいものである。

「嚴重警戒裡に

對峙する元山労働爭議

新報 市民協會から調停を申出で
會議所側では拒絶

（元山）既報の通り労働爭議は今や双方共對峙持久戦に入り物すこい多數警察官の嚴重な警戒に依り臨時雇ひ入れた人夫仲仕に依り一部の作業は支障なく取り行はれて表面頗る落付いた觀を呈し兩者共順として極度の緊張裡にあるが此形勢に對し朝鮮人市民協會の幹部有南百祐金景俊等數氏は本問題

を憂慮し労働會側幹部と會見した結果をもちらし三十日會議所側委員に市民協會が爭議解決の調停に立たんとする意向を以て腹藏なき意見の交換を求める處があつたが會議所側は之より圓滿解決を望む處なるも從來の弊害に鑑み將來の禍根をたし根本的良なる解決を期するには無條件解決を以てするも今直に應ずることができぬのみならず労働聯合會幹部に對する、幾多の疑問もありこれを以て完全なる解決とも見られぬとの理由を述べた模様で會議所委員側では一時商工界に支障を來しこの際多大の犠牲を忍んででも他日の禍根を絶ち永遠に根本的將來の商工營業者に不安なき解決をのぞまねばならぬとの意向で頗る強固であるから眞の解決のせう光の見えぬ間は當分この儘持久戦が繼續さるものと見られてゐる

各町洞では
自衛的警戒

惡化傾向に對し

斷乎たる善後策

三局長と馬野知事の密議

＝元山の勞働爭議＝

馬野咸南知事は廿八日總督府を訪問して午後一時頃から日没近く政務總監室に於て生田内務、淺利警務、松寺法務三局長並に富永保安課長等と極秘裡に會合何事か密議を凝らす處あつたが仄聞する處によれば朝鮮に於ては稀有の事件とさる元山勞働

爭議に對する善後對策協議にあるものと如くであつて爭議は既に資本金乃ち對荷主感情より寧ろ思想的に惡化の傾向さへあり然も動ともすれば暴動化せんとする形勢にあるため場合によつては斷乎たる措置を執る必要上相當警察力の充實を圖ると共に司法的にも遺憾なき善後措置を講ずるにあつたらしい

暴行から同情を失ふた

元山勞聯側の人夫

市内では流言蜚語

警察で嚴重警戒中

（元山）元山勞働爭議はその後、自今のところ不穩の形勢はないが市中は流言蜚語盛んにして種々の取り沙汰が行はれてをる一方右暴行事件は元山署で李容煥等の幹部をはじめ暴行者二十名を引致或は召喚取調べ中であるが久しきに至る罷業人夫には世間は同情し來れる折柄かゝる暴行は求めて火に入る狼狽かゝる暴行は求めて火に入る狼狽かゝる暴行は求めて火に入る狼狽

暴行事件は

頗る計畫的

人夫のみの行動でない

暴行に對する警察當局では嚴重に彼等を警戒し之が動機内容等につき暴行者の檢査と共にそれ／＼取調べ中に着手し暴行は單なる人夫のみの行動とのみ速断できず頗る計畫的な處あり威南勞働會事務所に闖入するや電話線が二三ヶ所切斷されてゐたと傳へられておる

被害者は

救世病院へ

暴行により重傷を受けた新勞働會員七八名は取敢ず救世病院に收容應急の手當中なるが劉炳臨は重傷にて生命危篤といはれ威南勞働會が今回の爭議の犠牲となつた

會合の流會を

機會に此暴行

聯合會では運動勃發の日には幹部總會を開いて罷業の全復業その他

威南勞働會側
平常通り靜穩

威南勞働會側や人夫は一時は不意の襲撃に會ひ戦々として不安に慄られたが警察側では充分警戒と保護を加へ再び斯ることなきやう言明しておるので二日來新勞働會員は平常通り作業に従事し嵐の後の静けさに歸り何等荷役運搬には支障がなかつた

聯合會側で
對策に腐心

聯合會幹部總會は執行代理金昌烈氏の歸還で二日會合の場であつたやうだが會員の暴行事件等一時見合となり機會を見て開催する由であるが幹部も罷業人夫の手當等愈々窮迫、業をはじめ種々對策に腐心の模様だとのことである